

THE SHOIN TIMES

“Community Support Association - Wednesday, January 15, 2020

CSA の活動がますます活発に

今年度、有志で結成されたボランティア団体（Community Support Association）の活動がますます活発になってきました。ウガンダを支援する目的とした文房具を送る活動は今年も引き続き実施しており、先日、夏休み前から呼びかけて集めた文房具を梱包しました。また、今回は新たに小阪駅前での募金活動や学校周辺の清掃活動を実施しました。今回は CSA メンバーの野上愛未さん（2夏）、中田玖瑠未さん（2花）、酒井結菜さん（1星）にコメントを頂きました。

樟蔭とウガンダを繋ぐ活動

今回私たちはアフリカの最貧国の一つであるウガンダ共和国に文房具を送るための仕分け作業を行いました。主な作業としては金属部品などが入っていないかなどの確認と発送のための詰め込みです。樟蔭では2年前からウガンダへの支援をしています。貧困という理由で勉強する事もままならない子供達に私達が出来ることが何かと考え、行っている活

動です。シャープペンシルなどを使う機会が増えた今、未使用の鉛筆や消しゴムなどの文房具をウガンダの子供達に送ることで勉強したいと願うウガンダの子供達の思いに応えることが出来ます。今回も沢山の文房具が集まりました。ご協力ありがとうございました。これからも樟蔭とウガンダを繋ぐ活動として続けていきたいと思えます。（野上愛未さん）



通学路周辺を清掃活動

今回 CSA では、河内小阪駅と河内永和駅方面に別れて清掃活動を行いました。活動をしていて特に多かったゴミが、タバコの吸い殻と缶です。缶などのゴミは駅前の植込みの中に捨てられていてとても驚きました。また、壊れた傘や先が尖ったものなど道端に落ちていけば怪我をするかもしれない危険なゴミも落ちていました。

今回、ゴミ袋6枚をいっぱいにする量のゴミを拾いましたが、通学路にこれだけ沢山のゴミが落ちていることを知ってとても驚きました。これからも、この活動を通して少しでも落ちているゴミを少なくしたいと思います。また、ポイ捨てを抑制できるような運動・活動をしていきたいと思えました。（中田玖瑠未さん）



河内小阪駅で募金活動

11月24日（日）に河内小阪駅までのウガンダ支援の募金に参加しました。参加する前は大変そうだな、と考えていました。活動する間に、配っていた資料をたくさんの方が読んでくださったり、募金に協力してくださったおかげで¥38,986

が感じられ、とても素敵な活動だと思いました。また参加して、たくさんの支援をできるように頑張りたいです。募金だけでなく、色々な支援の活動を考え、実行したり、CSAをもっと大きくし、ボランティアの輪を広げていきたいです。（酒井結菜さん）



学校法人 樟蔭学園

樟蔭中学校・高等学校